パルス中性子透過分光イメージング のためのカメラ検出器の開発

持木 幸一、河原林 順、小出 純平、浦垣 俊幸 (東京都市大学)

平成28年度 中性子イメージング専門研究会 平成29年1月5日

パルス中性子イメージング関連技術の開発

HUNS:積算型高速度カメラ

基盤研究(S) パルス中性子による物質材料および空間場の組織構造・物理量イメージング (北大 鬼柳)

• RANS:輝点処理

「国家課題対応型研究開発推進事業」光・量子融合連携研究開発プログラム 「**ものづくり現場で先端利用可能**な小型高輝度中性子源システムの整備・高度化」(理研 大竹)

• RADEN: 実時間輝点処理装置

「国家課題対応型研究開発推進事業」光・量子融合連携研究開発プログラム 実用製品中の熱、構造、磁気、元素の直接観察による革新エネルギー機器の実現(JAEA 篠原)

• KURR-LINAC: サブピクセルシフトによる高解像化

「国家課題対応型研究開発推進事業」原子カシステム研究開発事業(安全基盤技術研究開発) 次世代原子炉燃料の健全性評価のための非破壊分析技術の開発(京大中島)

Pulsed Neutron Transmission Spectroscopic Radiography System at HUNS



Seamless Accumulation Function





Short afterglow phosphor (Y₂SiO₅:Ce)

High resolution CMOS D800E (Nikon) max 7360x4912 pixels

High-speed gated image intensifier unit C9547-02 MOD Short afterglow phosphor P46 (HAMAMATSU) (TOSHIBA)

Neutron color image intensifier

Ultimage TCN9100B nαb

View field: 9, 7, 5.5 inch Input: B_4C B-10 > 99.7%Output: Y_2SiO_5 :Ce Decay 5µs Gating function Spatial Resolution: < 30 µm

High-frame-rate Camera MEMRECAM ST-821-HX (NAC Image Technology)



100,000 fps (10µs)



320 x 240 pixel

9 " 183x 137 mm [572µm] 5.5 " 112 x 84 mm [349µm] 162 x 162 mm [316µm] 99 x 99 mm [193µm]

512 x 512 pixel

30,000 fps

 $(33.3 \mu s)$

10,000 fps (100µs)



960 x 960 pixel

162 x 162 mm [169µm] 99 x 99 mm [103µm]

積算機能つき高速度カメラシステム

Camera Head

Image Processing Unit



測定例 (FeとB₄C)







ROI内のスペクトル

確認	ブラッグ エッジ[A]	TOF [µs]	測定値 [µs]	差
×	1.66	2380	2299	-81
0	1.81	2600	2699	99
Ο	2.03	2910	2999	89
0	2.34	3360	3465	105
0	2.87	4110	4231	121
0	4.05	5820	5929	109



256 x 256 画素でRITSコードでの解析結果

面密度(×10²² cm⁻²)





BCC相





FCC相

BCC相

256 x 256 画素でRITSコードでの解析結果

集合組織発達度





結晶子サイズ (µm)



FCC相

BCC相





X線回折試験により、A点はBCC(Fe)構造、B点はBCCと FCC(SUS304)の混相状態である事がわかった。

理研RANS での中性子輝点重心処理によるイメージング











光I. I. C9100-02 短残光 高感度カラーCCDカメラ 東芝: IK-TF2 インターレース



動画用カメラで中性子輝点検出







ビーム電流 **50.0 µA** 光 I.I ゲイン 840 3000枚 (50 sec)

中性子数過剰

ビーム電流 **5.3 µA** 光 I.I ゲイン 840 3000枚 (50 sec)

適度は強度(輝点が重複しない)

中性子輝点重心処理法

蛍光コンバータ上の輝点の重心座 標を算出し、積算するので、I.I.で発 生する<mark>分解能劣化を改善</mark>できる





25×25[pixel] 多値画像





25×25[pixel] 二値画像





穴あきカドミ板による分解能測定



測定体系



穴あきカドミ板のインジケータ(拡大・コントラスト調整)

穴あきカドミ板による分解能測定





2值化処理後



List Sais Copr.

RADENにおける実時間処理装置の開発







積算型高速度カメラシステムの高性能化

空間分解能の改善



N-I.I.の現状 200µm カメラ 5.5in 100kfps 320x240画素 350µm

カメラシステムのぼけの原因

- 光I.I. (MCPタイプ)による光の拡がり
- レンズ系で生じるぼやけ







重心処理と超解像処理

重心理 重心計算の際に小数点以下は切り捨て、または四捨五入













輝点画像 (高速撮影した生データ)

超解像処理 重心計算の際に二進数小数点2桁まで使用



画素数が縦横4倍に増加

重心処理と超解像処理



ハードウェアによる実時間画像処理システム









実時間重心処理とµNID の比較

μNID: マイクロピクセルチェンバー(μ-PIC) 中性子イメージング検出器(³Heガス使用) 検出視野: 100 x 100 mm 空間分解能: ~0.1 mm 最大計数率: ~1 MHz

11 : 11 111 111 ###

100 kfps、320x240 画素、視野 112 x 84 mm²、1 画素 350 µm角

1フレームで処理できる輝点数

仮定:平均の輝点の面積を25画素とし、総画素数の1%が輝点であると すると(平均 50 x 50 画素中に 5 x 5 の輝点)、 輝点数 n は n = (320 x 240) x 0.01 / 25 ≒ 31

100kfps であるので、1秒間に処理できる平均輝点数 N は、 N = 10⁵ x 31 = **3.1 Mcps**

4倍の超解像処理ができるとして、

画素数は1280 x 960 画素

P24

空間分解能は 1/4 に改善されるとして、88 µm となる。

サブピクセルシフトによる高解像化



Energy ~ 30 MeV Width:100 ns, Frequency:250 Hz, Current:~80µA

次世代原子炉燃料の健全性評価のための 非破壊分析技術の開発

プルトニウムスポット

Pu燃料製造時のUとPuの混合過程で、Puが均一に混ざらずにPu濃度が局所的に高くなってしまった部分

熱的、FPガス放出量増大、 燃料健全性評価の重要な要素

従来技術:α線オートラジオグラフィ α放射体MA含有のTRU燃料では検 知が困難



高精細な濃度分布のイメージング化 → 目標:空間分解能 400 µm

九州電力< http://www.kyuden.co.jp/nuclear_pluth ermal_qa_08.html> REVIEW OF SCIENTIFIC INSTRUM**26**TS 86, 056103 (2015)

中性子共鳴吸収反応で元素分析



現状の検出器システムと課題

N-DeMAIN

Δt優先:mA-PMTを使用>画素数不十分 高E中性子に対して高検出効率:柱状の厚いシンチ>Δx 不十分



ソフトウェア処理による空間分解能の改善



16枚撮像で最大250 µmまで空間分解能改善が期待









1. Dark Correction







Test Object / Shading Image

J

Dark Current

2. ML-EM Method Reconstruction for getting Super resolution

$$x_{j}^{k+1} = x_{j}^{k} \frac{1}{\sum_{i=0}^{M-1} C_{ij}} \sum_{i=0}^{M-1} \frac{C_{ij} y_{i}}{\sum_{m=0}^{M-1} C_{im} x_{m}^{k}}$$

3. Shading Correction



サブピクセルシフト X線透過像 CCDカメラ



サブピクセルシフト 中性子透過像 GEM

N-DeMAIN



サブピクセルシフト法 を適用 Result image reconstructed by 4 images (0.8 mm/pixel \rightarrow 0.4 mm/pixel)

Cd Line Pair Chart using thermal neutrons



3 lines became 4 lines by reconstruction result in the Φ 0.5 mm Cd Line pairs(duty ratio : 33%)

パルス中性子イメージング関連技術の開発

HUNS:積算型高速度カメラ

出刃包丁の解析で、RITSコードは有効に機能しており、約0.54mmの分解能でブラッグエッジ解析による結晶組織構造イメージングがなされた。

• RANS:輝点処理

中性子I.I.を用いて、初めて輝点画像の取得に成功し、重心処理画像が得られた。

- RADEN:実時間輝点処理装置
- KURR-LINAC: サブピクセルシフトによる高解像化

GEM検出器で得られた画像について再構成し、有効性が実証された。